

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ http://www.isenshu-u.ac.jp

代表電話番号
0225 (22) 7711
広報専用FAX
0225 (22) 7809

石巻市立女子高と「高大接続研究事業」調印

協定締結は5校目

本学は、相互の連携協 大連携に関する協定を締結により、魅力ある教育 結した。調印式は11月2日の実現を図るため、石巻 日、石巻市役所で、坂田市立女子高校との間で高 隆学長、同高校の三国清



▲ 協定書を取り交わす坂田学長(左)と三国校長

美校長、北村悦明石巻市副市長、境直彦石巻市教育委員会教育長ら関係者24人が出席して行われた。今回で本学の協定締結は5校目となる。

研究事業は2012年度から順次行われ、次のような事業を展開していく予定だ。

▽高校生に対する大学の授業科目の公開と単位認定▽大学による公開講座の実施▽大学教員の高校への派遣▽高校教員の大学への派遣▽相互の施設の開放▽大学生に対する高校の授業科目の公開▽地域の教育・文化の復興再生のための連携の推進▽その他高校と大学の協議の結果に基づき実施する事業

ホームカミングデー開催 志茂田景樹氏が講演



▲ 志茂田氏のサインをを求める来場者

10月8日「ホームカミングデー(卒業生の集い)2011」が開催された。この日は大学祭「石鳳祭」(本紙493号既報)も開かれており、多くの卒業生が母校を再訪し、旧友や恩師と楽しい時間を過ごした。

オープニングセレモニーに続き、専修大学の創立者たちの青春時代を描いた『蒼翼の獅子たち』(専修大学校友会創立50周年記念事業)の著者・

志茂田景樹氏が「生み出す力と創るよこび」と題して講演。その後、教職員食堂に場所を移し、歓迎セレモニー&懇親パーティーが行われ、卒業生たちは教員らとともに、思い出話に花を咲かせた。

また、同3階においては「石巻専修大学からの『知の発信』展」が開催され、最近の学部・学科の取り組みのほか、大学開放センターや共創研究センター、復興共生プロジェクトの成果についてパネルが展示され、来場者の関心を集めていた。



▲ 受講生に修了証書を授与

大学開放講座が閉講

61人に修了証書を授与

「復興道標」を統一テーマに開かれていた石巻専修大学開放講座の最終講座と閉講式が10月27日、行われた。

この日の講座は、本学を退職した教職員で組織されている石巻校友会長の渡邊剛・元理工学部部長が講師を務め「震災

で、学生のほか、一般市民も集まり、グラウンドピアノの音色と透明感あふれる木村長の若月昇理工学部教授が震災時から現在までの本学の取り組みを紹介した。

講座終了後の閉講式では、61人の受講者に修了証書を手渡した。

無放電コンセントの開発、佐々木万亀夫経営学部教授が「まちづくりにおける商店街の役割に関する研究」と題し、それぞれ1年間の研究成果を披露した。

IK地域研究員は、財団法人石巻地域高等教育事業団からの地域研究費助成金による研究者。石巻地域の経済・社会・文化に関する研究、石巻地域の産業・文化の振興に寄与する研究テーマを研究している。

携帯端末で簿記の勉強

岡野准教授と川村講師が開発

「日本会計教育学会第3回全国大会」が9月13日から3日間、熊本市の熊本学園大学で開かれ、本学から岡野知子経営学

「日本会計教育学会全国大会」でシステムを発表、広く認知される



「日本会計教育学会第3回全国大会」が9月13日から3日間、熊本市の熊本学園大学で開かれ、本学から岡野知子経営学

部准教授と川村暁理工学部講師が「可搬型ITデバイスを活用した簿記・会計教育の試み―東日本大震災直後に対応した会計教育法の一例として―」と題した報告を行った。この中で携帯端末を使った簿記の学習システム「Mobile DE BOKI」を紹介し、注目を集めた。

このシステムは震災後、十分な講義時間が取れないなか、携帯電話などの携帯端末を利用した学習方法として開発。専



▲ 伊豆沼で採取した魚を調べる学生

伊豆沼・内沼の生態系など調査

理工学部生物生産工学科の臨海実習(担当Ⅱ玉置仁准教授)が10月29日、宮城県栗原市の伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターで、学生54人がバスやブルーギルといった外来魚による生態系へ

今回の「湖沼における外来魚問題の理解」と「湿地における水質環境の測定」がテーマ。伊豆沼・内沼では近年、オオクチバスやブルーギルといった外来魚による生態系への影響が深刻化し、その駆除活動が行われている。実習では伊豆沼で採取した魚を調べ、外来魚の侵入状況を把握した。

翌日は本学で水質環境測定を行った。前日に伊豆沼などで採ってきた水を試料として、水生植物の有無によって水質環境がどのように変化するかを調べた。



▲ 上位を独占した学生たち

昨年引き続き1、2位独占 学生整備コンテスト

本学から4年次生22人が参加

(社)自動車技術会の東北支部学生自動車研究会が主催する「第26回学生整備コンテスト」が10月29日、仙台市泉区のトヨタ自動車(株)東北サービス分室で開催された。同研究会には、大学・高専10校大輝さん(同組が1位、熊谷慧祐さん(宮城県志

津川高)・和田賢大さん(宮城県仙台育英学園)組が2位となった。

同コンテストは、学科試験と、4種類の実技試験(灯火装置回路の解析・液体判別・運転診断・寸法測定)の総合点で順位を競う。千葉さん・菊地さん組は、学科試験は3位だったが、実技試験で高得点をマークした。

太陽光発電システムを5号館南に設置

東京エレクトロン(株)から寄贈された太陽光発電システムの設置がこのほど終了し、11月4日、本学で贈呈式が行われた。

この太陽光発電システムは、地上設置用の小規模太陽光発電(PV)システムで、5号館南側に設置された。

贈呈式には同社から伊藤高司常務執行役員らが出席。本学からは坂田学長、丸岡章理工学部部長が出席し、同社に感謝状を贈呈した。

10月28日には「太陽光発電システム導入に関する勉強会」が学内で開かれた。この勉強会は本学と石巻信用金庫との産学連携によるISFプロジェクトの一環として開催されたもので、約100人が出席。出席者たちは発電の原理や災害時の役割が説明された後、実際のシステムを見学した。